

社 会

(2023年度)

《注 意》

1. 試験開始の合図があるまでは、問題用紙を開けてはいけません。
2. 問題用紙は9ページまであります。解答用紙は2枚です。試験開始の合図があったら、まず、問題用紙、解答用紙がそろっているかを確認、次に、すべての解答用紙に「受験番号」「氏名」「整理番号」を記入しなさい。
3. 試験中は、試験監督^{かんとく}の指示に従いなさい。
4. 試験中に、まわりを見るなどの行動をすると、不正行為^{こうい}とみなすことがあります。疑われるような行動をとってはいけません。
5. 試験終了^{しゅうりょう}の合図があったら、ただちに筆記用具を置きなさい。
6. 試験終了後、試験監督の指示に従い、解答用紙は書いてある方を表にして、上から、(その1)(その2)の順に重ね、全体を一緒に裏返^{いっしょ}して置きなさい。
7. 試験終了後、書きこみを行うと不正行為とみなします。

次の文章をよく読んで、5 ページから 9 ページの問いに答えなさい。

麻布^{あざぶ}中学校でよく耳にする会話です。

先生「教室の掃除^{そうじ}当番、さぼらないでください。困るのは君たちですよ」

生徒「じゃあ、お金を払^{はら}って掃除業者^{たの}者に頼めばいいじゃないですか」

みなさんの通っている小学校でも分担を決めて自分たちで掃除をしていると思います。しかし、2013 年の調査によると、世界で生徒や児童が掃除を行っている国は 34.3%に過ぎません。業者に掃除を依頼^{いらい}する国の方が多いようですが、近年、そのような国でも自分たちで掃除をする学校がでてきています。生徒が掃除をすることによって教室を汚^{よご}さなくなる効果が指摘^{してき}されているからです。

教室は学校生活において、生徒が最も利用する「みんな」の空間です。これは、少し難しい言葉でいうと「公共」の空間となります。公共のものとは、どのようなものでしょうか。大きな特徴^{とくちょう}として、ア. だれかが努力をして得た成果を一部の人たちだけのものにすることはできず、みんなで分かち合うことになるということがあります。たとえば教室の場合、だれかが掃除をしてくれればみんながきれいな空間で過ごすことができます。掃除をした人もしなかった人も、同じようにきれいな教室で快適に過ごすことができます。そこで、もしだれかがしてくれるから自分はしなくてよいと考える人が出てきてしまうと、すすんで掃除をしたがる人が減ってしまいます。あるいは、掃除をする人も自分の周辺だけすればよいと思ってしまいかもしれません。教室を居心地^{いこち}よく保つためには、こうしたことにならないように、掃除当番を決めたり、汚さないためのルールを決めたりなど、工夫^{くふう}をする必要があるのです。

公共のものを維持^{いじ}する役割をだれが担^{にな}うのかは、実社会においても難しい問題です。みんなの利益につながることであっても、みんなで努力をしていけるとは限りません。学校の外のことを考えてみましょう。君たちのお父さんやお母さんは、町内会やマンションの住民たちで集まって公園を掃除したり、ゴミの集積所を整えたりしていませんか。すべてお金で解決しようとしなないのは、周囲の人との協力を大切にしたり、あまりに身近な場所すぎて自分たちで管理する方が良いという判断があるのかもしれません。

しかし、そこで集められたゴミの収集や最終処理などはどうでしょう。かつて、好き勝手にゴミが道路や河川^{かきん}などに捨てられたり、ゴミの量が多すぎて処理ができなくなったりすることがあったため、こうした事業は、国や地方公共団体などが担当する仕事になっていきました。わたしたちは、みんなが過ごしやすい環境^{かんきょう}を維持するためにこれらの仕事を国や地方公共団体に任せ、イ. その代わりに税金を払うことでその運営を支えています。しかし、そのようなやり方にも難しさはあります。少子高齢化^{しょうしこうれいか}がすすんでいる日本社会では、今後もすべてを国や地方公共団体が担っていくことは現実的ではなくなっています。

このあたりの事情をもう少し詳しくみるため、具体的な例として水道事業を取り上げてみましょう。歴史的にみると、都市の衛生環境を保つために上下水道の整備が必要でした。戦国時代の頃から城下町の形成にともなって、田畑へ引く水を兼ねた上水道が各地でつくられました。江戸時代になると、各地の藩では役人と町人や村人たちが協力して水道を管理していました。たとえば（ 1 ）が城下町としてつくった仙台には四ツ谷用水が建設され、この修理と維持にかかった費用は、3分の1が藩から支給され、残りの費用を城下に住む町人とその周辺の村人たちで等しく負担するようになっていました。町人たちは、春と秋の2回、藩の役人の監督のもとに用水の大掃除と修理を行い、水路のゴミや泥を除いていました。これに対して、江戸の水道は役人たちが中心となって管理し、武家や町人から使用料を徴収して運営にあたっていました。一方、下水道はどうなっていたのでしょうか。江戸のまちには、通り沿いに排水用の溝やドブがありましたが、おもに雨水を排水する目的でつくられていました。便所がくみ取り式で、排泄物は周辺の村で（ 2 ）として活用されたので、下水道は小規模なものにとどまっていた。

ウ. 明治時代には他の設備や制度と同じく、水道事業も近代化が始まります。関東地方で、エ. 最初に近代的な上水道の整備が行われたのは横浜でした。一方、東京では1877年にコレラが流行し、その原因として飲料水の衛生環境の悪さが指摘されると、浄水施設によって濾過や消毒を行う近代的な上水道の整備は急速にすすみ始めます。1890年に水道条例が成立し、上下水道の整備や運用は市町村単位で責任を持つことが定められました。企業が関わることについては否定的で、オ. 水道は国や地方公共団体が責任を負わなくてはならない、という考え方が強くありました。第二次世界大戦後の1957年に成立した水道法でも、この原則が引き継がれました。しかしその当時からすでに、カ. 都市化がすすむなか、その原則では限界があるという声があがっていました。高度経済成長期を迎えると水道は急速に普及し、1970年頃には全国の上水道普及率は80%を超えるまでになりました。この頃になると、水不足や水源の水質悪化が問題となり、巨額の費用がかかる水源開発の点からも従来の水道を見直す必要がでてきました。1977年に水道法が改正されると、水源の開発に都道府県が関わることも増えていきました。

宮城県の場合をみてみましょう。宮城県でも疫病対策の声が高まり、1923年に仙台市で近代的な上水道の整備が始まりました。最初は市独自でダムを建設しましたが、都市の発達とともに水が足りなくなりました。さらに、仙台市が二つの町と合併することになったため、1978年に宮城県がすすめていた広域水道から水を供給してもらうことになったのです。県が巨大な七ヶ宿ダムを

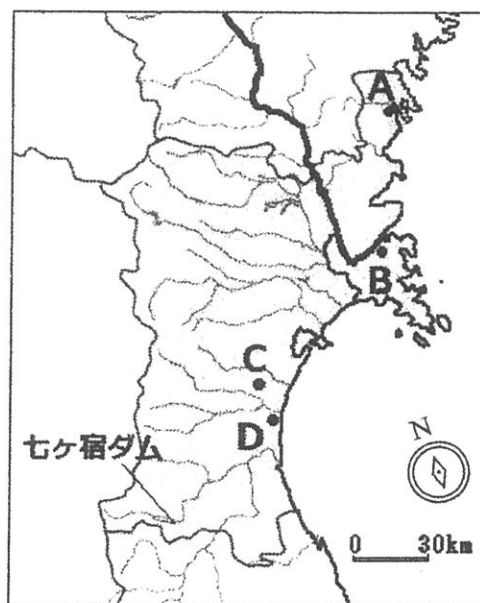


図1 宮城県内のおもな河川

建設することで、仙台市を含む 17 市町に水を供給することができるようになりました。ただ現在までの間に、宮城県沖地震、東日本大震災を経験し、宮城県の水道施設は大きな被害を受けました。水道管の復旧作業の費用や、今後に備えて地震に強い水道管につけかえる作業の費用は、水道料金に上乗せされることになってしまいました。

このような公共のサービスを維持していくには巨額の経費がかかるため、1980 年代よりこれらを民間企業に任せる動きが世界中で加速していきます。最初はイギリスやアメリカから始まり、やがて日本にもその動きが広まりました。国や地方公共団体が公共のサービスを担うということには、倒産の心配がないので安定的なサービスの提供が行えるという長所がある一方で、その産業に競争が生まれにくく、効率の悪い経営になりやすいという短所もあります。そのため国や地方公共団体はさまざまな形で民間企業に経営をゆだねるようになっていきました。たとえば、鉄道はかつて日本国有鉄道として国が運営していましたが、経営を効率化するため現在の J R 各社に民営化されました。また通信の分野では、つぎつぎ生まれる新たな技術に対応するために民間企業同士で競争する方が良いという意見が高まり、N T T などとして民営化されていきました。これらの産業は民営化したとはいえ、だれでも利用できるように法律によって国から一定の制約を受けることになっています。

キ. 日本の水道事業も 21 世紀になって民営化が本格的に検討され始め、2018 年の水道法改正によって民間企業が水道事業の一部を引き受けることができるようになりました。政府は、ク. 地方公共団体が水道事業の最終的な責任を持ちながらも、経営自体は民間企業に任せて効率化できる仕組みづくりを積極的にすすめようとしているのです。先ほど例に挙げた宮城県では、全国に先がけて 2022 年から水道事業の運営を民間企業に任せ始めています。これによって県は、今後約 20 年間で 300 億円以上の経費を節約できると発表していますが、住民のなかからは水道料金の値上げなどを心配する声が上がっています。というのも、いち早く民営化に乗り出したヨーロッパ諸国では、水道事業の効率化がうまくいかず、再び公営化するという事例が報告されるようになってきたからです。また、いくつかの発展途上国でも経費削減のために水道事業の経営を欧米の民間企業に任せましたが、利益があがらない地域の水道が廃止されたり、水道料金が値上がりしたため、公営に戻す運動が起きています。民間企業は、より多くの利益をあげることが目的なので、効率の悪いサービスを廃止していくのは仕方がないことかもしれません。しかし、ある日突然水が自由に使えなくなったときのことを想像してみると、わたしたちの生活に欠かせないサービスを公共のものとして国や地方公共団体が責任を負っていくということの大切さがわかると思います。仮に民間企業の手を借りるとしても、人びとが国や地方公共団体を通じてサービスが適切に行われているかを監視する必要があるといえるでしょう。

公共のものの維持は、長らく国や地方公共団体が担ってきました。その負担の大きさに国や地方公共団体が耐えられなくなると、今度は民間企業に頼り始めました。今後この流れがすすみ、お金を払えない人は生活に欠かせないサービスを得られなくなる可能性が指摘されています。このような流れを仕方がないこととしてあきらめてしまってよいのでしょうか。わたしたちは、みんなで話し合って社会がどうあるべきかを決めています。ケ. 公共のもののあり方について考えることは、わたしたちがどのような社会を目指すのかを考えることであるともいえるでしょう。

問1 文中の空らん（ 1 ）には人物名を、（ 2 ）には適切な語句を答えなさい。

問2 文中の図1について。

(1) 太線で示した河川の名称を答えなさい。

(2) 図中のA～Dは、東日本大震災の津波被害を後世に伝えるための施設や「津波遺構」の場所を示したものです。Bにあるものの名称とその説明文を下のあ～えから一つ選び、記号で答えなさい。

あ 閑上ゆりあげ きおくの記憶

…仙台平野の海岸近くにあった閑上集落の資料を展示した施設。集落のほぼすべてが津波で流されたので、その記憶をとどめるために施設がつけられた。

い 大川おおかわ小学校

…人工堤防ていぼうのそばにあった小学校。堤防の上に避難ひなんしたために多数の小学生が津波の被害にあった。賛否が分かれたが校舎を残すことを決定した。

う 3が11にちをわすれないためにセンター

…仙台市街にある図書館「せんだいメディアテーク」に置かれた展示室。小学生の防災学習にも活用できるようにつけられた。

え 気仙沼けせんぬま向洋高校（旧校舎）

…リアス海岸の港に近い位置にあった校舎。津波は校舎の4階にまで達したが、生徒たちは高台に避難して無事だった。

問3 下線部アについて。学校のなかで、このような特徴を持つものとして**適当でないもの**を、下のあ～えから一つ選び、記号で答えなさい。

あ 始業前かたんに花壇の手入れをすること

い 授業中に教室に入ってきた害虫を追い出すこと

う 昼休みに校内放送で音楽を流すこと

え 放課後に友達と勉強会をすること

問4 下線部イについて。税金は公共のものから利益を得られる人ほど多く負担するべきだという考え方がありますが、どの人がどれだけの利益を公共のものから得られているかを数字で示すことは難しく、実現していません。一方で、収入を調べることはそれほど難しくないため、実際には以下に示した例のように税金を払う能力がある人ほど多く納めることになっています。このような仕組みに対して賛成する意見も反対する意見もありますが、賛成する意見を二つ挙げなさい。

世帯A：夫、妻、子2人

- ・世帯年収 400 万円（夫の年収 200 万円、妻の年収 200 万円）
- ・子ども 2 人は公立保育園に通っている。
- ・収入にかかる税を世帯全体で年間 7 万円納めている。

世帯B：夫、妻

- ・世帯年収 1200 万円（夫の年収 600 万円、妻の年収 600 万円）
- ・週末は夫婦で市民体育館^{ふうふ}に行き運動をし、健康維持に役立っている。
- ・収入にかかる税を世帯全体で年間 40 万円納めている。

問5 下線部ウについて。明治政府は税金をかけて表1と表2のような官営施設を建設し、殖産興業政策を行いました。しばらくして、こうした官営施設は民間に払い下げられていきました。これについて、下の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 表1で挙げられた施設について、なぜ明治政府はこれらをつくったのですか。施設で生産されたものを考えて説明しなさい。

(2) 表2について、財閥は表にある施設を高額で買い取りました。なぜ財閥はこれらの施設を経営することが大きな利益につながると考えたのですか。説明しなさい。

著作権の関係上、非表示にしています。

問6 下線部工について。近代的な上水道が、いち早く横浜で整備されたのはなぜでしょうか。その理由を二つ説明しなさい。

問7 下線部才について。水道事業に関する現在の省庁ごとの役割分担について、次の文章の空らん(A)～(C)にあてはまる省庁の組み合わせとして正しいものを、下のあ～かから一つ選び、記号で答えなさい。

上水道は水質が重要だとして (A) が、下水道は都市計画に関係するため (B) が、工業用水は (C) が、それぞれ担当しています。これは水道行政三分割とも呼ばれますが、工業用水では水のリサイクルがすすむなど、状況は大きく変化してきています。加えて、(A) の仕事全般を見直す必要があり、上水道の管理を (B) に移そうという動きもあります。

- | | | | |
|---|---------|---------|---------|
| あ | A-環境省 | B-厚生労働省 | C-総務省 |
| い | A-環境省 | B-総務省 | C-国土交通省 |
| う | A-総務省 | B-国土交通省 | C-経済産業省 |
| え | A-総務省 | B-厚生労働省 | C-環境省 |
| お | A-厚生労働省 | B-総務省 | C-国土交通省 |
| か | A-厚生労働省 | B-国土交通省 | C-経済産業省 |

問8 下線部力について。都市化がすすむと、市町村単位の水道整備ではどのような問題が起こりますか。下の図2をみて気がつくことを説明しなさい。

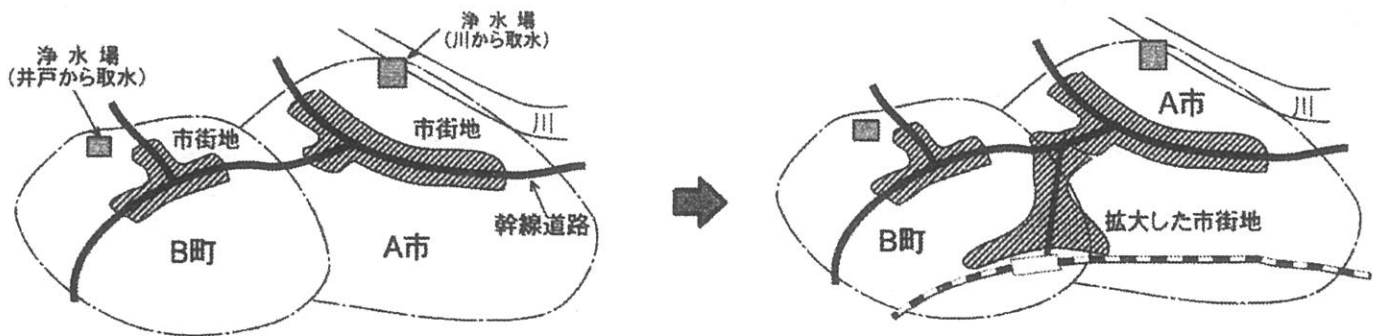


図2 都市化がすすむ前と後

問9 下線部キについて。民営化が本格的に検討され始めた背景には、近年の水道事業が抱えているいくつかの問題があります。下の図3、図4から読み取れる問題を説明しなさい。なお、水道の料金収入は使用量に応じて決まり、水道の維持管理費用は家屋や建物の数に関わって増減するものとします。

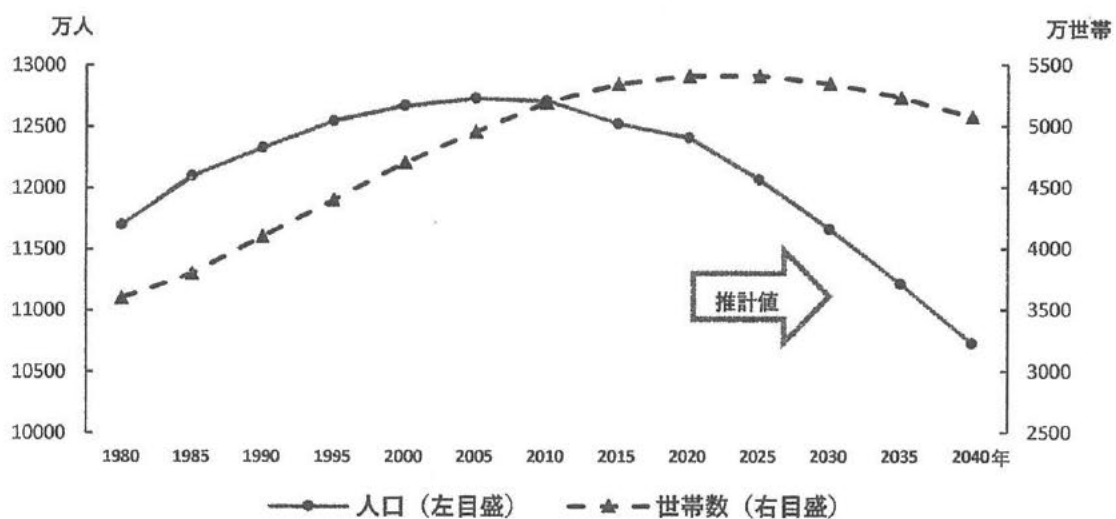


図4 日本の人口・世帯数の変化と2015年時点の予測
(総務省および国立社会保障・人口問題研究所の資料より作成)

問 10 下線部クについて。近年の地方公共団体と民間企業の協力事業のなかには、下の図5のような形で公共施設の運営を民間企業の資金や技術を利用してサービスの向上につなげようとする動きがあります。これに関して、図5を参考にして(1)(2)の問いに答えなさい。

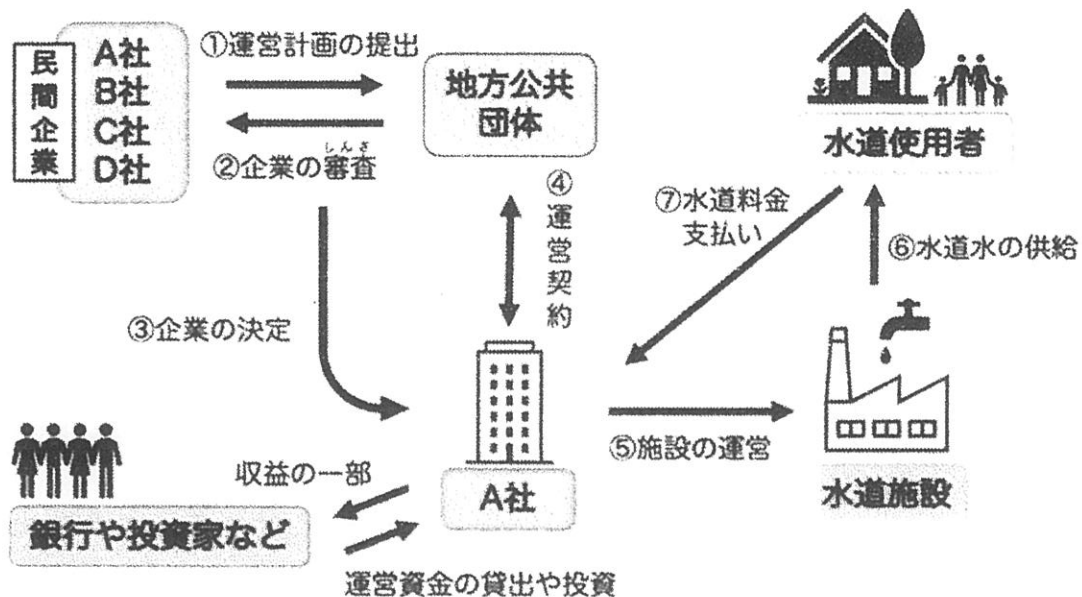


図5 水道事業における民間企業の運営例

- (1) 地方公共団体と民間企業の運営契約は、長期(20~30年間)になることが多くなります。その理由を説明しなさい。
- (2) 長期の運営契約を民間企業と結んだ場合、地方公共団体または水道使用者にとってどのような欠点がありますか。説明しなさい。

問 11 下線部ケについて。文中にあるように、現代の社会では公共のものがあり方が問われています。国や地方公共団体が担うのか、民間企業にゆだねるのかに関わらず、わたしたちがどこまでを公共のものとして「みんな」で支え合うか、どこから個人の問題と考えるのかが問われているといえます。しかし、個人で抱えているようにみえる問題でも「みんな」で支えることで解決するものもあります。そのような問題を一つ挙げ、それを解決できるような「みんな」で支える仕組みを考え、100~120字で説明しなさい。ただし、句読点も1字分とします。

〈問題はここで終わりです〉

受験番号	
氏名	

(2023年度)

社会解答用紙 (その1)

問1 (1) (2)

問2 (1) 川 (2)

問3

問4

問5 (1)
(2)

問6

問7

(整理番号)

小計

小計
<input type="text"/>

